

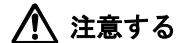
お買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

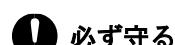
安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

⚠ 危険	死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況を示します。
⚠ 注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況 および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で
区分しています。



してはいけない



■施工上のご注意

⚠ 注意

 分解禁止	修理、分解および改造は行わないでください。 火災、感電および故障のおそれがあります。		配線は適合した電線や銅バーを使用してください。不要動作および火災のおそれがあります。						
	高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。感電、火災や動作しないおそれがあります。		本体の定格にあった電源に接続してください。不動作および故障のおそれがあります。						
	電気工事は有資格者(電気工事士)が行ってください。		単相3線式専用機種の場合、取付工事終了後、電源側および負荷側端子間の電圧確認とテストボタンによる動作の確認をしてください。						
	配線作業は、上位ブレーカを「OFF」し、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。		モータブレーカおよびモータ保護兼用ブレーカをモータ回路に使用する場合は、モータの全負荷電流に適合したブレーカを選定してください。						
	ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物および雨水などが製品内部に入らないように施工してください。火災や動作しないおそれがあります。		電線接続の際、端子ねじを表の適正締付トルクで締付けてください。火災のおそれがあります。						
	単相3線式専用機種の場合、電源は電源側・負荷側の指示のとおりに接続してください。火災や故障のおそれがあります。		適正締付トルク						
	単相3線式専用の機種は、中性線を必ず中性相に接続してください。また、中性線欠相検出用リード線は負荷側の中性相に確実に締め付けてください。過電流または中性線欠相で動作せずに火災のおそれがあります。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>締付トルクN·m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M5</td> <td>2.5~3.5</td> </tr> <tr> <td>M6</td> <td>4~5</td> </tr> <tr> <td>M8</td> <td>5.5~7.5</td> </tr> </tbody> </table>	ねじの呼び	締付トルクN·m	M5	2.5~3.5	M6	4~5
ねじの呼び	締付トルクN·m								
M5	2.5~3.5								
M6	4~5								
M8	5.5~7.5								
	線押さえ端子に直接電線を接続する場合には、単線またはより線をまっすぐ差し込み適正締付トルクで締め付けてください。直接、市販の圧着端子またはバーを接続することもできます。より線の場合は、電線をふり分けて差し込み締め付けてください。火災のおそれがあります。		インパクトドライバーなどによる過大な力が遮断器に加わらないようにご注意ください。破損の原因になります。						



単線



より線

■使用上のご注意

⚠ 危険



通電中は端子部に触れないでください。
感電のおそれがあります。

⚠ 注意

⚠	保守・点検は、専門知識を有する人が上位ブレーカーを「OFF」にし、電気がきていなことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。	⚠	テストボタンやトリップボタンをOFF操作には使用しないでください。故障のおそれがあります。
	端子ねじは定期的に有資格者が適正締付トルクで締付けを行ってください。火災のおそれがあります。		
	単相3線式専用の機種は、時々テストボタンを押して動作確認を行ってください。ブレーカーが「OFF」または「トリップ」にならない場合は故障です。電気工事店へ連絡してください。		自動的に遮断した場合は、原因を取り除いてからハンドルを「ON」にしてください。火災のおそれがあります。

■動作

- 過電流や短絡事故が発生した場合、自動的にトリップし電路を遮断します。また単相3線式専用の機種では電路の中性線の欠相により過電圧（135V以上）が発生した場合、0.5秒以内に電路を遮断します。過電圧で動作した場合のみ白ボタンが突出します。
- ハンドルは「OFF」の位置に止まるタイプと「ON」と「OFF」の中間で止まるタイプがあります。
中間で止まるタイプは、一度「OFF」側に戻してから再投入してください。

施工業者名

TEL

施工年月日

年 月 日

お問合わせ先

ご不明な点がありましたら弊社お客様相談センターにお問合わせください。

TEL (0561) 64-0152

〈受付時間〉 9:00~12:00、13:00~17:00（土・日・祝日は休み）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、商品の修理やご相談への対応、および情報の提供に利用いたします。

・利用目的の範囲内で、グループ各社と共同で利用させていただく場合があります。

・個人情報はあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはいたしません。

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2025年9月

B501000901

NITTO KOGYO

© NITTO KOGYO CORPORATION